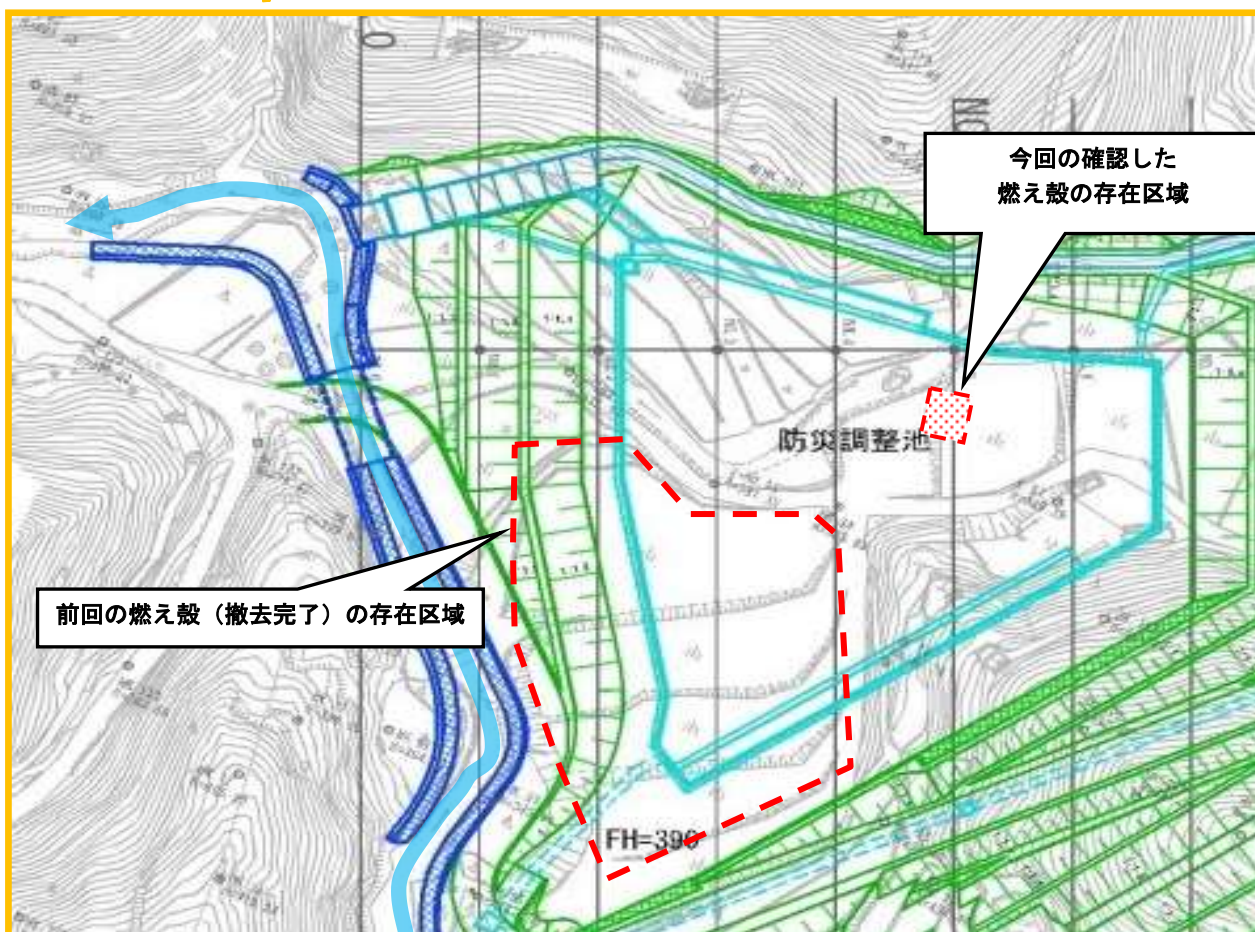
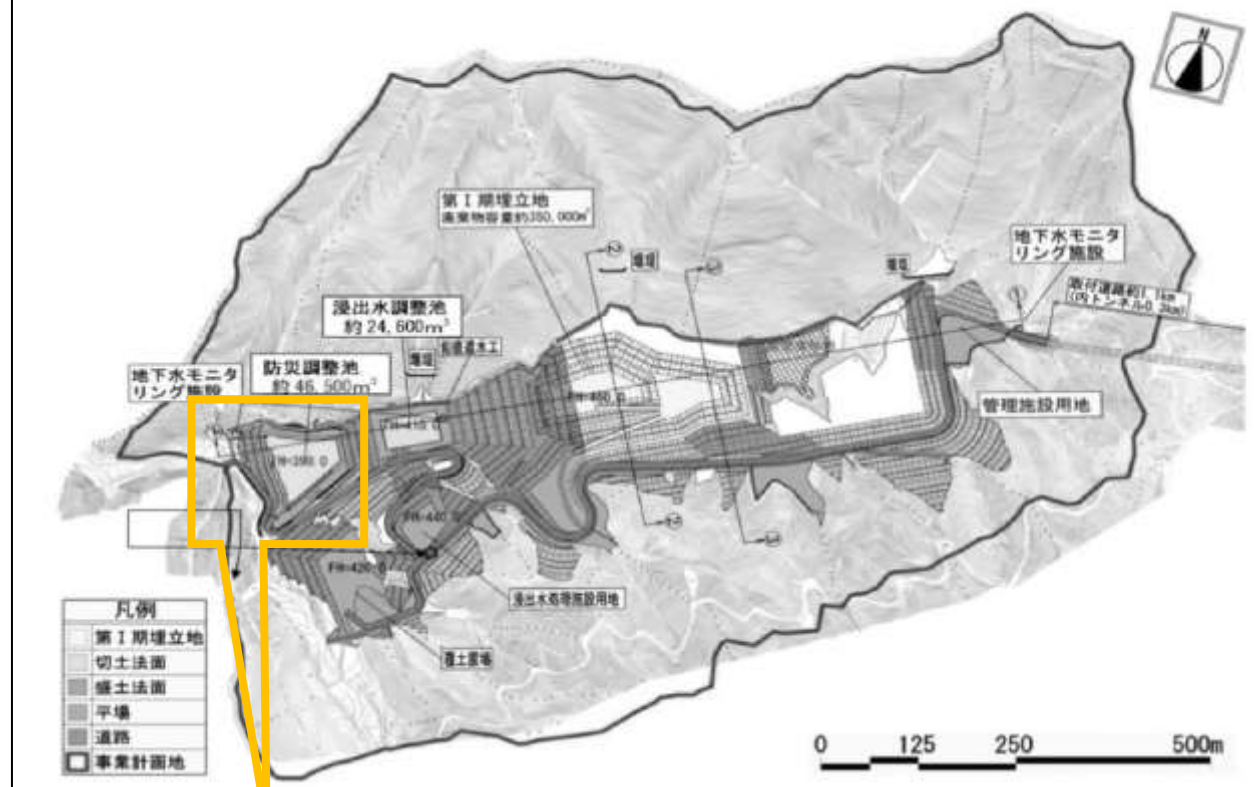


## 【恵下埋立地（仮称）建設工事現場における新たな燃え殻の確認及び今後の対応について】

令和元年5月27日に、恵下埋立地（仮称）建設工事現場（防災調整池）において、防災調整池の区域内を掘削中に、新たに燃え殻を確認しました。  
その状況と今後の対応については、以下のとおりです。

### 位置図（計画平面図）



### <燃え殻の確認経緯>

令和元年5月27日、施工業者が、防災調整池内の工事用道路として使われていた場所への掘削を始めた際、燃え殻を確認した。

左図のとおり、本市職員が現地で燃え殻であることを確認した。

### <確認した燃え殻の状況>

- ・ 範囲 約 90 m<sup>2</sup> (7.6m×11.8m)
- ・ 深さ 約 1.5m～1.8m
- ・ 概ねの量 約 200 トン (約 150 m<sup>3</sup>)

### <対応状況>

- ・ 燃え殻を確認した直後、当該箇所を直ちにブルーシートで養生し、飛散しないよう安全対策を講じている。なお、当該箇所以外の掘削工事は可能なため、工事工程への影響は出ない見通し。
- ・ 直ちにサンプリング調査を実施し、分析結果を踏まえ、廃棄物処理法に基づき適正に処分する。
- ・ 環境影響評価等に基づいて行っている水質調査を引き続き実施する。なお、これまでの水質調査では、基準値を超えるダイオキシン類は検出されていない。

### (参考) 前回の廃タイヤの燃え殻の処分状況

- ・ 発見時期 平成 28 年 8 月
- ・ 撤去期間 平成 29 年 10 月 ～ 平成 30 年 8 月
- ・ 範囲 約 3,300 m<sup>2</sup> (左下図 赤点線部分)
- ・ 深さ 約 1.0m～3.3m
- ・ 撤去量 約 5,700 トン